

# NEWS

## 愛・地球博記念公園 まなびや 「もりの学舎」春休み特別企画

- ・開催日時：令和5年3月18日（土）19日（日）  
3月25日（土）26日（日）
- ・場 所：愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内  
もりの学舎
- ・主 催：愛知県  
特定非営利活動法人もりの学舎自然学校
- ・協 賛：（一社）愛知県産業資源循環協会
- ・プログラム参加者数：154名（来館者数：415名）

愛知県及び特定非営利活動法人もりの学舎自然学校では、2023年3月18日（土）、19日（日）、25日（土）及び26日（日）に、（一社）愛知県産業資源循環協会の協賛のもと、春休み特別企画を開催しました。

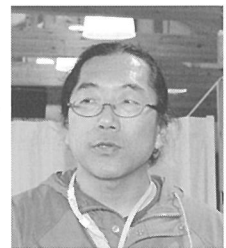
特別企画の「あそび工房」は3つのプログラムから構成され、『光の小箱』は牛乳パックを利用して光を楽しむ小箱を作り、『森のフォトフレーム』は木の実や枝などの自然素材を使ってフォトフレームを作成します。『えんぴつづくり』はリサイクル木粉（もくふん）粘土を使ってオリジナルのえんぴつを作ります。他にも、身近にある自然の色や形を楽しむプログラム「ふしぎ万華鏡」、森に隠れた生きもののイラストを探す自然遊び体験「いきものことばみつけ」も開催され、開催初日は雨の春寒のような一日でしたが、親子連れが多数来館されました。

その来館者の方々に愛知県環境政策部環境活動推進課の中村利枝氏は、もりの学舎周辺の春夏秋冬の見どころを話され、特に夏のヤマトタマムシの美しさは必見の価値があると伝えていました。

特定非営利活動法人もりの学舎自然学校代表理事 水谷 央氏は、「ジブリパークが開園され

てから森の学舎に訪れるお客様の層が変わり、今まで来られたことがない方も来館されるようになり自然を知っていただく良い機会だと思いました。平日はインタープリターがいないので、今後は職員でも対応できる体験のプログラム作りを考えていきたいと思っています。」と多くの方に向けた環境教育推進の取組を図られるとのことでした。

また、岡山県の豪雨災害に係る災害廃棄物処理の展示パネルを見た来館者の方が、その時被災をされたとのことで、



春休み特別企画について  
思いを述べる水谷代表理事

当時、家は前に浸水した家財が山積みで大変でした、と話をされ、仮置場の設置に関心を寄せていました。

午後からの「インタープリターと歩くもりのツアー」は、幼いお子さんと一緒に森の入り口あたりで、赤、白、黄色の花の木を見つけ合うなど自然と触れ合う貴重な時間を過ごすことができました。

春休み特別企画は、多くの方に環境保全の大切さを啓発できた4日間でした。

